



35th Anniversary  
純パの会35周年  
1982-2017

# Pure Pacific 純 No.189 パ Jan.2017

純パの会会報「純パ」第189号

2017年1月21日発行 / 発行: 純パの会

## 野球殿堂について思うこと

塚原 隆

平成29年の野球殿堂入り発表は、1月16日に野球殿堂博物館にておこなわれた。

野球殿堂には大きく分けて「競技者表彰委員会」と「特別表彰委員会」の2つの委員会から選出される。さらに「競技者表彰委員会」ではプレーヤー表彰とエキスパート表彰がある。昨年、伊東勤（千葉ロッテマリーンズ監督）はプレーヤー表彰で51.0%の得票率を得ているので、今年は絶対に当選確実と言われていた。

私は発表の1時間前には会場に入った。私は野球殿堂博物館の維持会員なので前から4列目に席が用意されていた。

記者の一人が「表彰者は5人だ」と情報を仕入れてきたようだ。この時点で表彰者の名前は分からないが、この5人の中に伊東勤は間違いなくいると思った。

発表の15分前になると資料が配られた。競技者表彰委員会・プレーヤー表彰からは伊東勤氏、エキスパート表彰からは星野仙一氏、平松政次氏の名前があった。また特別表彰委員会からは郷司裕氏、鈴木美嶺氏（いずれも故人）が当選した。

正直な話、伊東勤氏以外の4名はもともと早く選出できたはずだと思う。

野球殿堂に関してはいろいろと意見が分かれる。日本の場合、野球本国のアメリカと異なりアマチュア野球をベースにして発展してきた経緯もあるので高校野球や大学野球関係者からの表彰もある。今回、郷司裕氏や鈴木美嶺氏が殿堂入りしたのも喜ばしいことなのだが、もう少し職業野球の時代まで遡り、再度選出の検討をすべきプレーヤーもいるはずである。

また星野仙一氏や平松政次氏は古希を目前にしての選出である。長寿高齢化が進んでいるとはいえ、もう少し若い年代での受賞は出来ないものかと思う。選出方法の見直しも必要であろう。



●野球殿堂入りした3氏の記者会見  
(写真上より伊東勤氏、星野仙一氏、平松政次氏)